

技術士 2 次試験に合格して



渡辺 陸

(わたなべ りく)

勤務先

株式会社ドーコン

交通事業本部 交通部

〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4 番 1 号

TEL 011-801-1520 FAX 011-801-1521

E-mail rw1958@docon.jp

■ 専門：建設部門(道路)

1. 自己紹介

私は、札幌市にて幼少期～高校卒業までを過ごし、バスケットボールに明け暮れる日々を過ごしました。一度東京を経験し、自分の視野を広げようと考え、早稲田大学創造理工学部に進学、卒業後は Uターンにて北海道大学大学院に進学しました。

そして、建設コンサルタントという仕事を通して、地元北海道の発展に貢献したいという思いから、株式会社ドーコンに入社しました。

入社後の最初の 2 年は札幌駅交通ターミナルの事業化に向けた業務に携わり、バスタ計画という全国的にも先進的な分野を学びました。現在は入社 5 年目を迎えましたが、道路事業の整備効果を検討する業務に携わっています。

2. 受験動機

私が技術士を目指すキッカケとなったのは、同業で仕事をする父の影響が大きいです。早稲田大学は卒業時 JABEE 認定がなかったので、建設コンサルタント業界を意識し始めた大学 2 年生の時に 1 次試験を受験し、合格しました。

2 次試験については、大学院の経歴を含め、入社 3 年目から受験することができたので、若いうちに苦労してとれるならとおきたいという気持ちで勉強を始めました。

3. 技術士試験について

会社のサポートもかなり充実していましたので、筆記試験についてはお試しという気持ち半面、何かの間違いで一発合格しないかなという淡い気持ちで受験しました。結果については予想が当たった問題は A 判定でしたが、初見の問題は当然 B 判定でした。個人的には落ち込むことはなく、逆に準備できている部分が出題されれば、A 判定になるのだなという希望の光が見えたような感じがしました。

2 回目の筆記試験受験の際は、準備をより手厚くしたことで、予想が見事に当たり、合格することができました。会社の手厚いサポートにはもちろん頭が上がりませんが、ひたすら書いて練習するという王道パターンではなく、道路業界の最新の情報を収集・整理し、出題問題をとにかく予想するという独自の方法を貫いたことが自分に合っていて良かったのかなと思います。

口頭試験については、社内の技術士による模擬面接を 7 回行いました。自分は若いということもあり、面接官に色々突っ込まれる可能性があったので、かなり厳しく指導していただきました。筆記試験がゴールではないと、気を引き締めて模擬試験に臨みましたが、先輩社員にボコボコにされ、毎週気落ちしていた記憶があります。

ただ、その模擬面接を乗り越えたことで、本番当日はどの模擬面接よりも緊張せずに受験することができました。これだけ準備して落ちることはないだろうという謎の自信を持って受験できたのは社内の模擬試験のおかげです。本当に感謝しています。

無事合格を確認した際は、自分の友人に自慢したい気持ちでいっぱいになりましたが、技術士とは何か？という質問から始まるような気がしたので、辞めておきました。

4. 今後の抱負

技術士の合格はゴールではなく、新たなスタートであると認識しています。先輩技術士の皆さんが管理技術者として業務を担当している姿は非常に憧れますし、自分もその権利を得たわけですから、これからはより当事者意識を持って業務にあたりたいと思います。

最後に、試験合格にあたりご指導いただいた方々に対し、深く御礼申し上げます。